

けいせん

議会だより

第43号

《表彰》

福岡県町村議会議長会より自治功労者として桂川町議会の2名が表彰を受けました。議会活動を通じて地方自治の進展に大きく貢献されたことが高い評価をうけ、受賞されました。



原中政廣議員
(23年在職)



青柳久善議員
(31年在職)



5月11日、大木町の「おおき循環センターくるるん」を視察しました

大木町では生ごみを集め、し尿とともにバイオガスパラントで発酵させ、ガスと液体肥料をつくっています。ガスから電気をつくり施設で使います。液体肥料は、畑に散布します。こうして循環型のしくみがつくられています。

また、2008年に「もったいない宣言」を出し、ゴミの再資源化に取り組んでいます。これ以上子どもたちに環境破壊の「つけ」を残さないように。そのためには、ゴミの分別が大切です。分別は29種類。分別してリサイクルします。紙おむつも再生利用しています。やっぱりなゴミではなく、資源なのです。

大木町では、従前からSDGs・ワンヘルスに取り組んでいます。私たちにも、資源再生センターと位置づけた施設が必要です。次世代に「つけ」を残さないように。

文教厚生委員長

柴田 正彦

一般質問 (6月定例会)



原中政廣議員

産業廃棄物焼却施設について

問 大将陣公園横に建設予定の産業廃棄物施設の概要は。

答 (保険環境課長) 事業者は直方市中泉の福岡金属興業(株)。予定地は桂川町吉隈の自社所有地。

調査計画届では、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ゴムくず、紙くず、木くず、繊維くず、動物系固形不要物、動植物性残さ、感染性廃棄物等と記載されている。

問 中間処理施設なのか。

答 (保険環境課長) 中間処理施設と聞いている。

問 環境影響が懸念される行政区及び設定範囲は。

答 (保険環境課長) 「福岡県産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例施行規則」により算出された概ね半径1.3kmの範囲が目安とされ、本町では、土居一、土居二、吉隈一、吉隈二、吉隈三、瀬戸、寿命、天道の8行政区が想定されている。

問 ダイオキシン等の心配は。

答 (保険環境課長) 環境調査中で、この調査に基づき、予測・評価を行い、環境保全のための措置を検討し、今後、対策を施した計画がたてられるものと認識している。

問 説明会は。

答 (保険環境課長) 事業者主体で実施すべきもので、地元と十分に協議を行うよう、桂川町としても要望していく。

問 合意不成立の場合の町長の判断は。

答 (町長) 現時点において、どのような状況が想定されるのか分からない。基本は住民と事業主との協議による解決、そして、法律に定められた事項の順守に

あると理解している。

「福岡県産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例」の中に、市町村の責務として、「県の施策に協力するとともに地域における環境の保全を図るため、自らも紛争の予防及び調整に努める」とある。



吉川紀代子議員

学校給食費の無償化について

問 来年度は当初予算に計上すべきでは。

答 (町長) その方向で検討している。

ジェンダー平等の社会構築について

問 女性職員の課長昇格や、障がい者・LGBTQIA+（性的少数者）等職員採用の今後の取り組みは。

答 (町長) 今後も公平で適切な職員採用に取り組んで行く。

国民健康保険税の引き下げについて

問 コロナ感染症を理由とする国保税減免申請件数は。

答 (保険環境課長) 50件(平成31年度〜令和4年度までの課税分)。

問 資格証明書と短期被保険者証の交付状況は。

答 (保険環境課長) 資格証明書0世帯、短期被保険者証43世帯。

問 未就学児(0歳〜6歳)の均等割り額と該当人数は。

答 (保険環境課長) 医療分として最高12,500円/人、69人。

子どもの医療費について

問 18歳までの窓口負担は大きくすべきでは。

答 (町長) 窓口負担だけでなく子育て政策は進められている。

子どものメガネ助成について

問 裸眼視力1.0未満の児童生徒の全国との比較状況は。

答 (学校教育課長) 小学校では、全国より6・90%高い43・77%、中学校では7・23%低い53・43%。

問 裸眼視力0.3未満で、メガネやコンタクト矯正していない生徒の割合は。

答 (学校教育課長) 小学校では3・84%、中学校では2・81%。

問 子どものメガネ購入助成を考えるべきでは。

答 (学校教育課長) 視力矯正メガネの購入補助は考えていない。

高齢者のタクシー乗車助成について

問 高齢者にタクシー助成を検討すべきでは。

答 (健康福祉課長) 今年度、地域公共交通会議が行われると思うので注視していく。

大將陣公園横の産業廃棄物処理施設建設の状況について

問 中間処理とはどのようなことをするのか。

答 (保険環境課長) 施設に搬入された廃棄物を保管・分別・焼却し、残さを搬出する。

問 1日の処理能力は。

答 (保険環境課長) 調査計画届によると、24時間運転で1日当たり95トン。

問 住民説明会の計画は。

答 (保険環境課長) 現時点では把握していない。

問 県に対して意見はいつ頃上げるのか。

答 (町長) 進行状況が明確でないので不明。

※文字数制限のため「マイナンバーカード法改正案」は未掲載



大塚和佳議員

土師配水池及び水道施設の改修計画について

問 土師配水池の施設調査内容と今後は。

答 (水道課長) ボーリング調査後、土質の解析調査や配管診断を実施。
今後は、計画的に取り組む。

問 水道施設の改修計画は。

答 (水道課長) 各施設において老朽化が進んでいる。
計画的・効率的な施設の耐震化・改修等に取り組む。

「ゆのつら体験の杜」と「桂川駅舎等」について

問 起債総額は。

答 (企画財政課長) 9億7,010万円。今までの償還済額は、5,170万円。

令和5年度～令和23年度の償還予定額は、9億1,840万円。

問 年間維持費は。

答 (建設事業課長) 桂川駅舎等は、494万円。ゆのつら体験の杜は、906万円。
合計1,400万円。

桂川町誌の取り組みについて

問 編集委員や予算等で、現在までの決定事項は。

答 (企画財政課長) 現時点で決定しているものはない。

5年間の防災対策等について

問 大野城市の取り組みは。

答 (総務課長) 「防災マスター育成プログラム」で職員の人材育成研修を実施。

職員の中から参加者を募り、講座の内容は受講生が選択決定し、プログラムの終了時には防災士の資格を受験。

また、市役所の部署ごとの訓練を実施する。「各部各班個別訓練」や「非常時の職員参集訓練」の実施。

問 災害時における職員体制及び各課の役割分担等の理解は。

答 (総務課長) 課長会で、水防計画書を配付し、説明会を実施。その後、課長から各職員へ、災害時の配備体制や役割等についての周知徹底。また、問い合わせは随時協議。

問 職員研修は。

答（総務課長） 新規採用職員に実施。

問 役場庁舎の避難訓練は。

答（総務課長） 実施していない。

問 避難所の準備品や仕事の内容把握等は。

答（総務課長） マニュアルに沿って対応。

問 今までの取り組みで、町民の安全・安心に対応できるのか。

答（町長） その時の状況に応じて対応していくし、大規模な災害が来たら別な次元の対応をとる。

※文字数制限のため「予約乗り合いタクシー等の玄関から玄関への取り組み（飯塚市や嘉麻市）と桂川町の取り組み」「保育所及び学校建設」は未掲載



柴田正彦議員

大将陣公園横の産業廃棄物処理施設について

問 産廃施設を計画している福岡金属興業（株）が現在行っている事業は。

答（保険環境課長） HP（ホームページ）などによると、鉄スクラップの仕入れ・加工・販売、産業廃棄物の収集運搬・圧縮切断・破碎・選別。

問 汚泥処理・感染性廃棄物などの中間処理は初めて行うのか。

答（保険環境課長） これまで、このような事業をしたということとは聞いていない。

問 昨日の説明では、大将陣公園近くに見える産廃処理施設は、24時間稼働で、1日に95トン进行处理できる。桂川町の桂苑（74トン）よりも処理能力が大きい。

ということとは、膨大な危険物質が桂川町に運ばれてくる。大丈夫なのか。

この会社の資本金は。

答（保険環境課長） HPによると、22227万5千円。

問 この産廃事業者は、桂川町も

飯塚市も県も関係ない民間と考えていいのか。

答（保険環境課長） 民間。

問 なぜ、桂川町で産廃事業を行うのか。

答（保険環境課長） 桂川町に自社所有地があることも要因と思われる。

問 ある区長には、「桂川町が福岡県の中央にあり、北九州市からも福岡市からも運びやすい」と言っているようだ。

答（保険環境課長） 聞いている。

問 危険物が大量に来る。大型車が何台も通る。中間処理施設というが、その後のことはわからない。つくる場所は、市民の憩いの場に接している。

問題が多いが、町長として、どのように考えているのか。

答（町長） 県知事の認可事業で、事業者は県知事に申請。必要に応じて、桂川町の意見を聞くという場面もある。

基本的には住民の安全と環境保全。これは町として果たさなければならぬ責務。

問 町民への説明を求めるときだが。

答（保険環境課長） 説明会は事業者の責任。あとは状況に応じて対応する必要がある。

問 住民の反対があったときは。

答（町長） この先どのように進展するか見当がつかない。その時々状況を勘案する。

※文字数制限のため、他は未掲載



杉村明彦議員

小中学校の一人一台タブレットについて

問 桂川町での活用状況は。

答（学校教育課長） 小学校では、交流活動・写真・動画などによる学習に必要な情報収集・キーボードの入力練習・プログラミング学習・家庭学習などを行っている。どの学年も積極的に

活用している。

中学校では、海外の中学生とオンラインによる英会話の実践・英語のスピーキングテストを生徒がタブレットに録音し提出するなど活用の幅を広げている。

問 子どもたちのICT教育を改めて推進して欲しい。

一方でチャットGPTなど、AI技術の取り扱いをどう考えているのか。

答 (教育長) ICTの活用と、きめ細かな指導体制の整備を充実させることで、個別最適な学びと協働的な学びを実現することができると。

そのため、分け隔てなくICT教育を構築しなければならぬ。これからもしっかりと推進していく。

また心配のチャットGPTの取り扱いには13歳未満は使用不可、18歳未満は保護者の許可が必要といった年齢制限があるが、これからの時代においては、このような生成AIを学習に活用する流れは止められない。

そのためにも、教育者が新しい学習の在り方を模索すべき時代になってきている。

带状疱疹のワクチン接種について

問 带状疱疹ワクチンの周知と接種の推進はなされているのか。

答 (健康福祉課長) 国においても発症を抑制し重症化や後遺症の予防につながるかとされているが、現在、任意接種となっているため、周知や接種の推進については、慎重に行っていく。

問 全国でも、接種費用の一部助成を行っている自治体が増えている。桂川町でも、带状疱疹ワクチン接種の助成ができるのか。

答 (健康福祉課長) 福岡県内でも二つの自治体が助成しているが、福岡県議会においては、国に対して助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を求める意見書が提出されている。現段階では助成する考えはないが、今後、国や県などの状況を注視していく。



下川康弘議員

浄水場及び配水池について

問 補正予算に配水池施設業務委託費が計上されているが、今後の計画は。

答 (町長) 配水池周りのボーリング調査・配管調査をすることで、まず、地元の皆さんの不安をやわらげ、理解を求めることが大切だと思っている。

同時に、これからの計画立案を考慮する上で、タイムスケジュール上の参考にもなると思っている。その調査結果を見たと上で基本的な方針を検討していく。

○6月定例会の様子
桂川町HP「議会」で、
ご覧になれます。

○9月定例会予定
9月4日～9月21日
(一般質問は9月20・21日)

つぶやき

お陰様で10周年

以前の「つぶやき」で、少年柔道教室「孜孜(しし)道場」の話をさせてもらいましたが、お陰様で、平成24年7月8日の道場開きから、早いもので昨年10周年を迎えました。

これもひとえに、指導者や保護者会、支援者の皆さんの協力があったことだと、深く感謝いたしております。

私自身は、指導者として子ども達と一緒に汗を流し、苦楽を共にする中で様々なことを学んできました。「練習で泣いて、本番で笑え」を合言葉に、コロナにも負けずに頑張ってきました。

お陰様で、県大会をはじめ数々の大会で優勝を含む上位入賞を果たすことが出来ました。

将来、道場生からオリンピック選手が出てくれることを願いながら、子ども達と一緒に桂川町を元気にしていきたいと思っております。

北原裕文



6月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
同意第3号	桂川町農業委員会委員の任命について	【同意】 全員賛成
同意第4号	桂川町公平委員会委員の選任について	【同意】 全員賛成
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	【同意】 全員賛成
承認第3号	桂川町税条例の一部を改正する条例の制定（専決）について	【可決】 賛成多数
承認第4号	桂川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定（専決）について	【可決】 全員賛成
承認第5号	令和4年度桂川町一般会計補正予算（専決第6号）について	【可決】 全員賛成
承認第6号	令和4年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（専決第1号）について	【可決】 全員賛成
承認第7号	令和4年度桂川町土地取得特別会計補正予算（専決第1号）について	【可決】 全員賛成
承認第8号	令和4年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号）について	【可決】 全員賛成
承認第9号	令和4年度桂川町水道事業会計補正予算（専決第3号）について	【可決】 全員賛成
承認第10号	令和5年度桂川町一般会計補正予算（専決第1号）について	【可決】 全員賛成
議案第26号	桂川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第27号	桂川町予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第28号	令和5年度桂川町一般会計補正予算（第2号）について	【可決】 賛成多数
議案第29号	令和5年度桂川町水道事業会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
報告第1号	令和4年度桂川町繰越明許費繰越計算書について	—

【追加議案】

議案第30号	損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解について	【可決】 全員賛成
意見書案第2号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2024年度政府予算の策定を求める意見書（案）について	【可決】 全員賛成
意見書案第3号	最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書（案）について	【可決】 賛成多数